

令和5年度 かほく市立高松中学校 学校評価中間報告書

令和5年9月15日

経営目標	取組内容	現 状 (数値は令和4年度最終報告より)	評価の観点	達成度判断基準 ※肯定的評価を基準とする ※CまたはDの場合再検討	評価		後期の方向性等
						%	
1 学力向上	① 「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業づくりの充実	<p>・本校の研究主題、カリマネの柱である表現力の向上をさらに進めたい。教職員の発問、生徒の表現力の自己評価はともに肯定的評価は89%であるが、1回答は50%程度のため、1回答を増やすことを意識する中で、肯定的評価を増やす。</p> <p>・1人1台端末の活用については、昨年度までの研究を土台に実践が進んでいる。今年度はより効果的な利用に着目する。</p>	<p>・教職員は、生徒の様々な考えを引き出したリ、思考を深めたりするような発問をしている。 【教職員・努力】</p>	A: 95%以上 B: 90%以上 C: 85%以上 D: 85%未満	A	94.1	<p>・昨年度に続き「思考を深め、伝え合う力」を高める授業づくりをめざし、すべての教員が指導者を要請した研究授業を実施するなど学校全体で取り組んでいる。その成果もあり、昨年同期より授業後半の充実について教員の取組は6ポイント上昇した。生徒の表現力向上のため、後期も継続していく。</p> <p>・昨年度までの市指定研究を土台として、教員・生徒ともに授業で1人1台端末を使用する様子が普段から見られる。後期は、授業後半で生徒の意見をつなげる場面での活用を進めていく。 【参考】授業でICT機器を週3回以上使用している92.5% (全国61.1%)</p> <p>・研究部会で教科部会の持ち方(学力調査の分析、学力向上プランの作成等)を示し、教科部会で話し合われた内容を全体に還元する校内研修会を月1回以上開催している。後期は、教科部会を通じて「学力向上プラン」「学力向上ロードマップ」に基づく取組の意識を高めていく。</p>
			<p>・生徒は、まとめや振り返りで、自分の考えを表現することができる。 【生徒・成果】</p>	A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	B	86.7	
			<p>・教職員は、1人1台端末等のICT機器を、授業の場面に応じて効果的に使用している。 【教職員・努力】</p>	A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	B	88.2	
	② 学力向上プラン・学力向上ロードマップに基づく取組の推進	<p>・「教科部会の内容」については今年度の新たな評価項目である。研究部と連動した教科部会を持ち、学力調査の分析や、発問の工夫等を教科で取り組んで行く。</p>	<p>・教職員は、学力調査の結果を分析し、「学力向上プラン」に基づく指導をしている。 【教職員・成果】</p>	A: 95%以上 B: 90%以上 C: 85%以上 D: 85%未満	D	81.3	
			<p>・教職員は、「教科部会の内容が充実している」と感じている。 【教職員・満足】</p>	A: 95%以上 B: 90%以上 C: 85%以上 D: 85%未満	A	100	

経営目標	取組内容	現 状 (数値は令和4年度最終報告より)	評価の観点	達成度判断基準 ※肯定的評価を基準とする ※CまたはDの場合再検討	評価		後期の方向性等
						%	
2 豊かな心の育成	① 自己肯定感の育成	・教職員からのタイムリーな生徒の自己肯定感・有用感を認める指導をさらに進めていく。(肯定的評価95%、1回答74%)	・教職員は生徒を褒めたり伸ばしたりしながら、長所を認める(伝える)指導をしている。 【教職員・成果】	A: 95%以上 B: 90%以上 C: 85%以上 D: 85%未満	B	94.1	・今年度2学期より生徒と向き合う時間確保のための日課変更と生徒との人間関係構築のために面談を時間割の中に位置付けた。職員にとっては生徒理解の機会とし、生徒にとっては、学校の中に相談できる大人がいると思える機会としたい。特に職員の指導に関する項目は全職員共通の取組であり、後期は100%をめざす。 ・「自分には良いところがある」と回答した生徒は昨年度より3.1ポイント減少した。後期は、授業だけでなく運動会、文化祭等の行事において、前期同様に生徒の頑張りや成長を見取り、認める・褒める指導を継続していく。
		・「自分には良いところがある」と感じている生徒は81%であるが、3年生は64%と低く、学校行事等で「やり切る」体験を増やしたい。	・生徒は「自分には良いところがある」と感じている。 【生徒・成果】	A: 80%以上 B: 70%以上 C: 60%以上 D: 60%未満	B	76.4	
	② 積極的・組織的な「支える生徒指導」の推進	・教職員は生徒理解に努め、一人一人に応じたきめ細かな指導に努めている。 【教職員・成果】	A: 100% B: 95%以上 C: 90%以上 D: 90%未満	D	88.2		
		・「学校へ行くことが楽しい」と感じている生徒は89%。	・生徒は「学校へ行くことが楽しい」と感じている。 【生徒・成果】	A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	A	91.3	
		・「学校におけるいじめ未然防止等の取組を知っている」保護者は87%。さらに学校の教育活動について知らせる工夫を行う。	・保護者は、「学校におけるいじめの未然防止や早期発見のための取組」を知っている。 【保護者・満足】	A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	B	81.1	
		③ 道徳教育の充実	・道徳の授業により「自己の成長を感じている」生徒は91%。今年度は、授業における表現の場をさらに創出し、生徒の自己肯定感の伸長につなげたい。	・教職員は道徳の授業において「考え議論する道徳」の実現に取り組んでいる。 【教職員・努力】	A: 95%以上 B: 90%以上 C: 85%以上 D: 85%未満	D	
			・生徒は、道徳の授業において他人の考えを聞きいろいろな見方・考え方を知ることができている。 【生徒・満足】	A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	A	97.1	

経営目標	取組内容	現 状 (数値は令和4年度最終報告より)	評価の観点	達成度判断基準 ※肯定的評価を基準とする ※CまたはDの場合再検討	評価		後期の方向性等
						%	
3 健康教育の充実と体力向上	① 食育の推進	・毎日朝食を食べている生徒は98%(R4)との回答を得ているが、継続して評価項目とする。	・学校は給食指導等の機会を捉え、食育指導を行っている。 【教職員・努力】	A:100% B:95%以上 C:90%以上 D:90%未満	D	76.5	・1、2年生は5月に栄養教諭を講師に、食育についての学習会を実施した。さらに、入学式において1年生保護者に本校の食育指導の取組を説明した。 ・今年度より、これまでの残菜0(ゼロ)の取組を「残菜がある場合もある」と方針を変換したが、教職員のD評価につながったと思える。残菜0にすることが食育指導ではないので、将来の食生活を見通した指導を家庭科等と連携し進めていく。「朝食を毎日食べている」と回答した生徒は96.2%(昨年同期より1.5ポイント減) ・体力テスト8種目(男女とも)のうち、県平均以上の種目数は 男子:1年生7種目、2年生5種目、3年生6種目、平均6種目 女子:1年生5種目、2年生6種目、3年生4種目、平均5種目 昨年同期より2、3年生は県平均以上の種目が増えている。
	② 体力・運動能力の向上	・全8種目中、男子はすべての学年で5種目以上が、県平均を上回ったが、女子は平均を上回った種目が4種目以下であった。	・体力テストにおける、県平均値以上の種目数(全8種目) 【生徒・成果】	A:7種目以上 B:6種目 C:5種目 D:4種目未満	男子: B 女子: C		
	③ 適切なメディアの使い方の指導と啓発活動	・メール・ネット等の使用時間は長くなる傾向である。(1時間以上75.1%、3時間以上18.2%)かほく市ネットルールの周知、専門家による講演等を通じて、スマホ・ケータイの使用時間を含めた使い方を考えさせる機会を設ける。	・学校はネット社会の光と影、マナーとモラルについて指導する機会を設けている。 【教職員・成果】	A:4回以上 B:3回 C:2回 D:2回未満	A	4回	・通信事業者主催のネットモラル講演会を実施したり、全校集会で生徒会が「かほく市ネットルール」の読み合わせをしたり、学校便りで保護者へお知らせしたり、あらゆる機会を通じてネットモラル・マナーについて指導・啓発する機会を設けている。
			・生徒は「かほく市ネットルール」を心がけている。 【生徒・努力】	A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満	C	74.5	・メール・ネットの使用時間は、昨年同期とほぼ同じで1時間以上74.7%、2時間以上19.1%、3時間以上19.1%であった。

経営目標	取組内容	現 状 (数値は令和4年度最終報告より)	評価の観点	達成度判断基準 ※肯定的評価を基準とする ※CまたはDの場合再検討	評価		後期の方向性等
						%	
4 円滑な組織運営と学校の活性化	① 組織的な学校運営と校務分掌の確立	<p>・組織としての学校運営について、教職員の意識は高い。ただ、学校評価アンケートの結果を分析した上での改善についての1回答は52%であり、校務分掌部会等を活用し、組織として取組の検証、改善を図る機会を設ける。</p> <p>・「学校の方針や子どもの姿が伝わってくる」の設問に保護者の1回答は28%と低い。ホームページの充実等を図り、保護者・地域に発信していく必要がある。</p> <p>・コロナ禍の制限が緩和されたことに伴い、教育効果の高い外部人材の活用も進めていきたい。</p>	・教職員は自己の役割が明確で職務を円滑に遂行している。 【教職員・成果】	A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	A	94.1	・今年度より設けた月1回の校務分掌部会が、職員会議議案の確認をしたり、整理・統合の視点から校務を見直したりする共通理解の場となっている。また、分掌部会では、夏季休業中に学校評価アンケート結果をもとに、分析や改善策も検討した。今後も職務の円滑な遂行のために校務分掌部会を継続していく。
	② 学校評価を生かした学校運営		・学校評価アンケートの結果の分析及び学校運営協議会の意見を基に、教育活動の改善位努めている。 【教職員・成果】	A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	B	88.2	・アンケート実施後に「1人1台端末の教科の特性に応じた活用例や児童生徒の情報活用能力の育成」について、中学校区3校で協議する場を設けた。夏季休業中に校区の小学校6年生を迎えて、授業体験、部活動見学を実施した。今後も行事の中での児童生徒の交流や教職員間の交流を計画し、中学校とのスムーズな連結を進めていきたい。
	③ 信頼される学校づくりのための連携強化		・小中連携において、教職員間、児童生徒間の交流を通して、相互理解を深めている。 【教職員・成果】	A: 95%以上 B: 90%以上 C: 85%以上 D: 85%未満	D	82.4	
			・学校は相談や問い合わせに適切に対応してくれる。 【保護者・成果】	A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	B	89.7	・「学校は相談や問い合わせに適切に対応してくれる」の肯定的回答は89.7%と昨年同期より3ポイント減少した。今年度から設問に「分からない」の項目を増やしたことが減少の理由と考えられる。そのため、今後は学校の教育活動について保護者・地域への発信をさらに進め、理解を求めたい。
			・保護者は学校便り・ホームページ等を通して、学校の方針や生徒の様子等を知ることができる。 【保護者・満足】	A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	A	95.7	・「学校便り・ホームページ等を通じて学校の方針や生徒の様子等を知ることができる」の肯定的回答は4ポイント増加している。
④ コミュニティスクールを生かした魅力ある学校づくりの推進	・学校は、地域の外部人材を積極的に活用している 【教職員・成果】	A: 95%以上 B: 90%以上 C: 85%以上 D: 85%未満	B	94.1	・前期は4年ぶりに実施した2年生の職場体験、1年生の地域学習、1、2年生への本の読み聞かせ等に、地域の方に学校の教育活動に参画していただいている。後期もコミュニティスクールの強みを生かし、地域・外部の方の力を借り、教育目標の実現に取り組んでいく。		

経営目標	取組内容	現 状 (数値は令和4年度最終報告より)	評価の観点	達成度判断基準 ※肯定的評価を基準とする ※CまたはDの場合再検討	評価		後期の方向性等
						%	
5 教職員の働き方改革の徹底	① 教職員の時間外勤務の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務時間は、減少傾向にあるが、依然として80時間を超える教員もある。 ・水曜日の効果的な活用法を図り、生徒の放課後の活動時間は保障しつつ、時間外勤務の削減につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員は、効率的・効果的な取組がなされるような意識を持った働き方(働き方改革)を行っている。 【教職員・成果】 	<ul style="list-style-type: none"> A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満 	B	88.2	<ul style="list-style-type: none"> ・学力分析を目的に定期テスト当日の部活動停止、2学期からは生徒と向き合う時間確保のため日課変更を実施した。また、将来の部活動地域移行を見据えて市3中学校で完全下校時刻を30分繰り上げを実施した。今後も生徒と向き合う時間の確保、生徒の学力向上、教員の授業準備時間確保等を目的とした時間外勤務を減少する取組を実施していく。 ・昨年同月より職員平均の勤務時間は減少しているものの、依然として時間外勤務が80時間を超える職員もいるために、決められた時間内で働く意識をさらに高めるようにしたい。